

## 令和 4 年度病床機能転換事業計画報告書

- 1 病院名：狭山厚生病院
- 2 所在地：埼玉県狭山市中央 1 丁目 24 番地 10 号
- 3 病床機能転換概要

転換前病床 機能区分	転換病床数（床）		整備事業 内容	整備事業 開始（着工） 予定年月	整備事業 完了（竣工） 予定年月
	地域包括 ケア	回復期リハ			
急性期	42		改修 設備整備	2022 年 11 月	2022 年 12 月

※転換前病床機能区分は「急性期」「慢性期」等該当するものを記載。

※整備事業内容は「新築」「増改築」「改修」「設備整備」の該当するものを記載。

- 4 提供する医療の内容

<p><b>【転換前】</b></p> <p>急性期医療機関として、救急病院からの転送受け入れ、診療所や介護施設との連携を図り、診療を行っています。</p>
<p><b>【転換後】</b></p> <p>地域包括ケア病棟化後は、急性期病院からの急性期治療後患者の受け入れや、更なる診療所や介護施設との連携を図り、亜急性期患者の受け入れや訪問診療の拡充に努めます。</p>

- 地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能
  - 急性期治療が終了した入院患者の在宅復帰支援
  - 介護保険施設へ移行するため支援
  - 切れ目なく在宅医療に移行するための支援

- 新たに担う役割
  - 地域住民が安心して暮らせるまちづくりへの積極的な協力
  - 地域住民の健康増進に係るイベントの協力や開催
  - 家庭医療の ACCCA に努める

○将来の方向性

狭山市内の病院が減少して高齢化が進む中、地域住民が安心して暮らせるよう地域医療に貢献します。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

【現在の体制で対応できていない患者】

- ①全身麻酔・脊椎麻酔下による手術が必要な患者
- ②人工呼吸管理が必要な患者

【今後の見込み】

- ①埼玉石心会病院や入間川病院との更なる連携を図り、迅速な紹介に努める。
- ②看護職員の教育を行い、受け入れ可能な体制を構築する。

5 転換後の見込み

届出予定基本診療料施設基準 地域包括ケア病棟入院料 4	算定開始予定年月 2023年1月
患者の受入見込み (※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入してください。)	
<b>【転換前】</b> 石心会病院から年間 120 人 (58%) 自院から年間 23 人 (11%) 遠藤医院・地域包括支援センター等(自宅)から年間 16 人 (8%) ブリエライフⅡ・第2つつじの園等施設から年間 49 人 (23%) 訪問診療を行う患者数 年間 27 人	<b>【転換後】</b> 石心会病院から年間 150 人 (57%) 自院から年間 30 人 (11%) 遠藤医院・地域包括支援センター等(自宅)から年間 25 人 (9%) ブリエライフⅡ・第2つつじの園等施設から年間 60 人 (23%) 訪問診療を行う患者数 年間 60 人
医療(介護)連携見込み (※具体的に記入してください。)	
<b>【転換前】</b> ○紹介元：石心会病院、入間川病院、遠藤医院、第二つつじの園等 ○紹介先：遠藤医院、第二つつじの園等	<b>【転換後】</b> ○紹介元：石心会病院、入間川病院、大生病院、遠藤医院、第二つつじの園等、ブリエライフⅡ等 ○紹介先：遠藤医院、第二つつじの園、ブリエライフⅡ等

※届出予定基本診療料施設基準は「地域包括ケア病棟入院料1」「地域包括ケア入院医療管理料1」等該当するものを記載。

## 6 医療従事者

職種	転換前の人員（人）			転換後の予定人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	3	16	3	4	16	3
看護師	8	4	2.1	10	6	2.3
准看護師	7	5	4.5	7	5	4.5
看護補助者	4	2	1.5	6	2	1.5
理学療法士	1	0	0	2	0	0
作業療法士	0	0	0	1	0	0
言語聴覚士	0	0	0	0	0	0
放射線技師	1	1	0.2	1	1	0.2
臨床検査技師	0	0	0	1	0	0
薬剤師	1	1	0.2	2	1	0.2
事務	5	2	1.2	6	2	1.2
その他	6	4	1.6	7	4	1.6
計	36	35	14.3	47	37	14.5

### 確保状況・確保策、確保スケジュール

（※変動が生じる予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）

#### 【医師】

紹介会社からの紹介に依存している状況にあるが、グループ内での人事異動も視野に入れて確保にあたる

#### 【看護職】

紹介会社からの紹介に依存している状況にあるが、グループ内での人事異動や、在籍職員の知人看護職員の紹介（紹介料を給付）も視野に入れて確保にあたる

#### 【リハビリ職】

既に1名増員については、内定状態にある。今後のニーズに合わせて、在籍職員の知人セラピストの紹介（紹介料を給付）も視野に入れて確保にあたる

#### 【その他】

ニーズに合わせて、適宜、必要な職員の採用活動を行う。

## 7 主な病院内施設・設備

転換前	転換後
(例) ・ 1病棟 4 2床 (地域一般入院料 3)  ・ 機能訓練室 <u>1室 27m<sup>2</sup></u> ・ ナースステーション <u>2室</u> ・ 診察・処置室 <u>5室</u>	(例) ・ 1病棟 4 2床 (地域包括ケア病棟入院料 4)  ・ 機能訓練室 <u>5室 105m<sup>2</sup></u> ・ ナースステーション <u>2室</u> ・ 診察・処置室 <u>4室</u>

(※増減が生じる施設・設備は、アンダーライン等でわかるよう記載してください。)

## 8 医療（介護）連携における課題、問題点

○市町村・ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

当院周辺に存在する地域包括支援センターに定期的にお会いする時間を設け、状況の確認を行い、当院で受け入れ可能な患者さんがあれば積極的に受け入れをおこなっています。

入院が必要な在宅患者や施設入居者が入院先を見つけることに苦慮しているとの話を聞いているため、シームレスな地域連携体制が必要であると考えております。

今後も継続して病病連携、病診連携、病介連携に更なる連携強化を図り、スムーズな連携体制構築に貢献したいと思います。